

# ステロイド(のみ薬)について



## 【ステロイドとは】

ステロイドは副腎という臓器でつくられるホルモン(副腎皮質ホルモン)で、様々なストレスから身体を守るような作用があり、生命維持に重要な働きを担っています。

それを薬剤としたのが、ステロイド薬(商品名:プレドニゾロン錠など)です。




主な作用として、強力な抗炎症作用があり、アレルギーなど免疫反応を抑える効果もあります。

そのため、膠原病、気管支喘息など様々な疾患の治療に使用されています。

その一方で、副作用も多く知られており、特に長期に内服する場合には注意が必要です。

## 【起こりうる副作用とその対策】

ステロイドを服用することで様々な副作用症状が現れることがありますが、副作用予防薬の使用や定期的な通院で早めに発見し対策できるものも多くあります。

起こりうる副作用	対策と予防薬
感染症(抵抗力が弱くなる) 	手洗い・うがいなど感染予防を心がけてください。 抗菌薬で感染を予防します。(バクタミンなど)
消化性潰瘍(むかつき・胃の痛み・食欲低下) 	胃酸の分泌を抑える薬で予防します。 (ラベプラゾール、ランソプラゾール、タケキャブなど)
骨粗しょう症 骨頭壊死(骨の組織が壊れて痛みが出る) 	骨がもろくなるのを防ぐ薬やビタミン D 製剤で予防します。(アレンドロン酸、アルファカルシドールなど) 短時間の日光浴も効果があります。
血圧上昇、血糖上昇、浮腫、食欲増進、肥満	症状がでたら医師にご相談ください。
不眠、抑うつ、精神高揚	
緑内障、白内障	
ムーンフェイス(顔が丸くなる症状)	

## 【内服中の注意点】

ステロイドを 2-3 週間以上内服すると、本来の副腎機能が抑制されてしまう状態となります。そのため、内服を急に中断してしまうと副腎皮質ホルモンが不足した状態になり、倦怠感や発熱などの症状が現れることがあります。さらに進行すると、血圧低下等の重篤な症状が出現して時に生命に関わる場合があります。

体調が優れない時なども自己判断で減量や中止せず、必ず主治医に相談するようにしてください。



気になる症状があれば医師へ相談してください。